



放射線(X線)を利用した検査を 安心して受けて頂くために

放射線室

放射線科で行う検査の中には、CT検査やレントゲン検査など放射線を利用した検査があります。これらの検査から得られる画像は、病気の診断や治療方針を決める上で大切な判断材料となります。しかし、これらの検査は、放射線による人体への影響を伴うため不必要に検査をすべきではありません。したがって、医師が検査を行う上でメリットがデメリットを上回ると判断した場合のみ検査を行います。

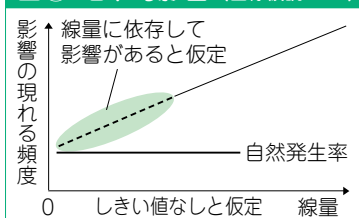
放射線の影響として、確定的影響(図①/一定量の放射線を受けると必ず影響が現れる現象で、放射線を受ける一定量(しきい値)以下に抑えることで防ぐことができます)と、確率的影響(図②/放射線を受ける量が多くなるほど影響が現れる確率が高まる現象)に分かれます。

確定的影響として、皮膚の発赤、一時的な脱毛、永久不妊などがあり、また、確率的影響として、将来的な発がん、白血病、遺伝子への影響が挙げられます。

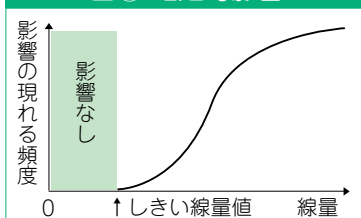
適切に管理されたCT検査、レントゲン検査では、これらの放射線の影響は極めて低いと報告されており、通常の放射線検査による発がんの可能性は、喫煙や過度のアルコール摂取、不健康な生活習慣などと比べても極めて低いとされています。また、放射線による人体への影響は時間とともに回復し、蓄積されていくものではありません。

少しでも気になることがありましたら成羽病院にお問い合わせください。

図② 確率的影響(直線仮説 LNT)



図① 確定的影響



健康づくり応援通信 46

問 健康づくり課 ☎ 21-0267

インフルエンザの予防接種について

インフルエンザにかかると、38度以上の発熱やせき、のどの痛み、全身の倦怠感や関節痛など、全身症状があらわれます。また、感染力が非常に強く、日本では毎年約1000万人、約10人に1人が感染し、特に高齢者、子ども、妊婦や、糖尿病などの持病のある人は、症状が重くなりやすく注意が必要です。例年12月から3月にかけて流行するため、流行前までに予防ワクチンを接種することが有効です。



越智 淳子 保健師
(健康づくり課)

種類	対象者	接種料金	申請の有無
高齢者 インフルエンザ	①市内に住所がある 65 歳以上の人	1,700 円(1 回のみ)	申請不要
	② 60～64 歳で心臓・腎臓などの内部疾患があり、障害等級 1 級または同程度と医師の診断書で確認できる人		
	①または②に該当する生活保護世帯	無料	事前申請が必要
子ども季節性 インフルエンザ	市内に住所がある 1 歳～小学 6 年生	公費助成額 1,500 円を 除いた額(1 人 2 回まで)	申請不要

※実施期間は令和 4 年 1 月 31 日(月)まで

予防接種を実施している医療機関 子ども季節性インフルエンザは市内医療機関で接種が可能です。また、高齢者インフルエンザは県内指定の医療機関でも接種が可能です。予防接種を実施している市内医療機関については、市ウェブサイトをご覧になるか、健康づくり課、または各医療機関へお問い合わせください。